



## 震災が浮き彫りにした多文化共生の問題を議論する 6月30日「公開シンポジウム ～多様な文化の共生～」神戸にて開催

国際交流基金は、「地球市民賞 公開シンポジウム ～多様な文化の共生～」を開催いたします。阪神・淡路、東日本、熊本などでの震災は、地域が抱える多文化共生の問題を浮き彫りにしました。福島や熊本をはじめ全国の地球市民賞受賞団体が一同に会して、互いの知恵を共有し、今後の課題について議論します。

メディアの皆様におかれましては、貴媒体でお取り上げいただけますようお願い申し上げます。



近年の大規模震災においては、在日外国人に最新情報が入らない、避難所にいる多国籍の人への偏見からトラブルが発生するといった問題をも顕著になりました。神戸では震災後、コミュニティ放送局が開設され今では8言語で生活情報を提供したり、外国人市民会議が発足したりといった、問題解決への先駆的な動きが見られます。また熊本では、震災時に熊本市国際交流振興事業団が災害多言語支援センターを開設し、ハラルフードや炊き出しをインターネットで募りました。外国人が地域社会と積極的に交流するようになり、防災訓練に参加するようになった例も見られます。

当日は、震災の他に、人と社会をつなぐアートの力、外国人住民が主体的に参加するまちづくりのあり方などについても広く議論を展開する予定です。

### 記

- 【日時】 2018年6月30日（土）13時～17時
- 【会場】 デザイン・クリエイティブセンター神戸（KITTO）（兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4）
- 【進行】 13時10分 オープニングセッション（鼎談）  
13時40分 第1セッション「震災の経験から」  
14時40分 第2セッション「人と社会をつなぐアートの可能性から」  
15時30分 第3セッション「社会を拓く多文化パワー」  
16時20分 クロージングセッション
- 【主催】 国際交流基金、地球市民賞 公開シンポジウム実行委員会  
実行委員代表 田村 太郎（ダイバーシティ研究所 代表理事）、  
兵庫県受賞団体 6団体（受賞年順）：  
公益財団法人 PHD 協会、特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター、  
特定非営利活動法人 芸術と計画会議（C.A.P.）、特定非営利活動法人 ダンスボックス、  
特定非営利活動法人 プラス・アーツ、特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター

※各セッションの詳細な内容、登壇者などにつきましては、後頁に記載しております。

※ご関心のセッションのみご取材いただくことも可能です。担当者までお問い合わせください。

【プログラム詳細】

■13時 開会

総合司会： 吉富 志津代（特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター 常務理事）  
主催者挨拶： 柄 博子（国際交流基金 理事）  
企画趣旨説明： 田村 太郎

■13時10分 **オープニングセッション（鼎談）**

テーマ： 国際都市神戸のこれまでの歩みとこれからの可能性  
登壇者： 植松 賢治（神戸市市長室国際部長）  
河合 誠雄（プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 ガバメントリレーションズシニアマネージャー）  
永田 宏和（特定非営利活動法人 プラス・アーツ（兵庫県）理事長）  
概要： 開港以来国際都市として発展してきた神戸の多文化共生の歩みを概観し、阪神・淡路大震災からの復興を経て、これからの都市が多様な文化の人が暮らしやすい魅力的なまちになるにはどうすればよいか、現状と今後の可能性について話題提供する。

■13時40分 **第1セッション「震災の経験から」**

登壇者： 大城 ロクサナ（特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター（兵庫県）理事）  
吉田 恵美子（特定非営利活動法人 ザ・ピープル（福島県）理事長）  
八木 浩光（熊本市国際交流振興事業団（熊本県）事務局長）  
モデレーター： 田村 太郎  
概要： 阪神淡路、東日本、熊本、各地の震災経験と、それを契機に浮彫りになった地域が抱える多文化共生の問題点、解決に向けた取り組みを紹介するとともに、今後の課題や方向性について議論する。

■14時40分 **第2セッション「人と社会をつなぐアートの可能性から」**

登壇者： 下田 展久（特定非営利活動法人 芸術と計画会議 C.A.P（兵庫県）代表）  
横堀 ふみ（特定非営利活動法人 ダンスボックス（兵庫県）プログラム・ディレクター）  
山野 真悟（認定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター（神奈川県）事務局長）  
モデレーター： 荻原 康子（公益財団法人 墨田区文化振興財団 常務理事）  
概要： 地域の外国人コミュニティをはじめとするマイノリティの人々と社会との接点を設け、多様なものをつつみこむ社会をつつていくにはどうすればいいか。特にアートが持つ力、可能性に着目し、多様な文化をつつみこむ社会づくりを考える。

■15時30分 **第3セッション「社会を拓く多文化パワー」**

登壇者： 金城 ナラヤナツミ（特定非営利活動法人 ブラジル友の会（岐阜県）理事）  
フッデルゲル（特定非営利活動法人 神戸外国人定住支援センター（兵庫県）ゼネラルマネージャー）  
岡崎 広樹（芝園団地自治会（埼玉県）事務局長）  
モデレーター： 藤沢 久美（シンクタンク・ソフィアバンク 代表）  
概要： 多様な文化をつつみこむまちづくりを考えると、外国人住民がそれぞれの視点から主体的に参加することが欠かせない。外国人住民が主体的に参加するまちづくりを考える

■16時20分 クロージングセッション

神戸宣言の発表： 田村 太郎  
主催者あいさつ

■16時30分 閉会 / 17時 終了

以上